

災害に強いまちづくり

近年、地震や台風、大雨などの自然災害が全国各地で頻発し、私たちの暮らしに大きな影響を与えています。災害から命と生活を守るためには、日頃からの備えや地域全体での支え合いが欠かせません。町では、防災訓練の実施や防災用品の備蓄など、さまざまな取組を進めています。一人ひとりが防災意識を高め、地域で助け合うことで、安心・安全な災害に強いまちづくりを目指していきます。

☎ 総務課 総務係 ☎ 52-5802

注目される防災対策事業を紹介します

1 中央南防災広場および 防災トイレなどを整備

町では、災害に強いまちづくりを目指し、防災広場や防災トイレ、防災用パーゴラ、防災用かまどベンチ、防災遊具の整備を進めています。

防災広場は災害時の避難場所として、防災トイレは下水道などの排水設備が故障して水洗トイレが使用できなくなった場合にも利用可能な設備です。

防災広場などの整備予定地



▲防災トイレ整備図(案)

2 防災拠点の設置および 災害時相互支援体制の構築

町では、B&G 財団と連携し、災害に備え、光地区消防組合東出張所(平田地区)の裏手に防災拠点の整備を進めています。配備する資機材を効果的に活用するために、光地区消防組合や町消防団と協力し、訓練を実施します。

また、災害時の初動対応や救助活動を迅速かつ円滑に行える体制の構築にも取り組みます。

—— B&G 財団が配備する主な資機材の例 ——



▲ダンプ 2 台



▲油圧式ショベル 2 台



▲ドローン



▲救助艇



▲蓄電池



▲ソーラーパネル

その他資機材倉庫などを整備